

FOCUS

追いかける。大学生。

輝く学生を応援 学生 Place+

社会貢献活動をサポート

学生 Place+ (以下、学生プラス) は、京都のまちの活性化につながる活動や社会貢献をする学生を応援するための場所。普段、ミーティングや情報発信をする学生で賑わっている。

<p>スキルアップ ワークショップ</p>	<p>学生の活動に必要なスキルや能力を身につけるためのワークショップを開催。</p>
<p>交流プログラム lma 〜つどう・つながる ・ひろがる〜の開催</p>	<p>学生プラスを利用する学生同士がつながり、互いに活動の幅を広げることを目的とした、月一回の交流プログラム。</p>
<p>助成事業</p>	<p>学生によるまちの活性化活動、社会貢献活動をサポートするために資金の助成や、企画運営への助言を実施。</p>
<p>むすぶネット</p>	<p>むすぶネットホームページを活用し、地域行事と学生団体とをコーディネートする事業を運営。</p>
<p>メールマガジンの 発行</p>	<p>運営団体からのお知らせや実施イベントについてなど、学生に役立つ情報を掲載。毎月二回発行。</p>

学生プラスを拠点に行われていること

J R京都駅に近いキャンパス京都プラザの1階に設置されている学生プラス。中には、学生がミーティングを行うための交流スペースがある。また、学生の相談に応じることができるように、市民活動に関する知識や経験を持ったコーディネーターやアシスタントが常駐している。利用者で、病院×Arto学生プロジェクトの一員の村上里奈さん(同志社大・4年)は「学校が違うけど、こういう場所だと集まりやすい」と話す。

また、団体登録をする、あらかじめ場所を予約して使うことのできるスペースや備品の使用、メールマガジンを使った情報発信が可能となる。現在は約50の学生団体が登録をしているという。学生プラスは2010年10月にオープンした。京都市から委託を受けて、特定非営利活動法人ユースビジョンが特定非営利活動法人きょうとNPOセンター、財団法人京都市ユースサービス協会と協働運営している。京都市の「学生を応援したい」という気持

地域と学生を結ぶ拠点に

ちと、社会貢献をしている学生からの「気楽に集うことができる場所が欲しい」という声があわさってきた。開設当初は利用者が少なく、1週間で利用者は数人という日も続いたが、口コミやSNSによって徐々に増加。現在では平均で1日約300人の学生が学生プラスを利用している。

学生生活は4年間しかない。また、メンバーの入れ替わりも激しいため、継続して活動が続けることが困難だという問題を抱える学生団体も少なくはない。「学生プラスで、そんな学生団体や学生の活動を少しでも手助けしていきたい」と話すのは、コーディネーターの勝村尚代さん。実際に学生プラスを利用していた学生団体で、NPO法人に成長したものもあるという。

勝村さんは、「地域にでて社会貢献している学生さんやこれから活動をしたいという学生さんに、気軽に来てもらいたいです」と笑顔で話した。

【木村美咲】

UNN関西学生報道連盟

配信・発行 (C) UNN 関西学生報道連盟 (公式HP) <http://www.unn-news.com/>

■共同編集室 〒532-0011 大阪市淀川区西中島 4-2-24 ダイニホンビル 4F

(TEL) 06-6307-1315 (FAX) 06-6829-6353 (MAIL) info@unn-news.com

FOCUSは

神戸大学ニュースネット委員会
同志社大学 PRESS 編集部
NEWS 立命通信社
関学新月通信社
大阪大学 POST 編集部

関西大学タイムス編集部
神戸女学院大学 K.C.Press 編集部
京都女子大学藤花通信編集部
京都大学 EXPRESS 編集部

の共同編集による週刊フリーペーパーです